第10期介護保険事業計画における施設整備について

資料3

1　第8期から第9期介護保険事業計画に位置づけた施設の整備状況

期別	系列	サービス種別	状況	運営法人	備考
第8期（R3-R5）	施設・居住系	介護老人福祉施設　定員30人×1施設（改築）	整備済（R5.7増床）	社福）慈恵会	広域
		介護老人福祉施設　定員80人×1施設（新設）	整備済（R5.11開所）	社福）あいの土山福祉会	
		認知症対応型共同生活介護　定員18人×1施設	見送り	ー	地域密着
	居宅系	小規模多機能型居宅介護	ー	ー	
		登録定員29人×1施設（第7期計画延伸分）	整備済（R5.1開所）	NPOゆうらいふ	
		登録定員29人×1施設（新設）	見送り	ー	
第9期（R6-R8）		看護小規模多機能型居宅介護	ー	ー	
		登録定員29人×1施設（新設）	見送り	ー	

2　第10期計画に係る基本指針の基本的な考え方（抜粋）

ア　介護サービス提供体制の計画的な整備

（ア）地域の実情に応じたサービス提供体制の整備

具体的には、令和６年度～令和８年度の介護給付等の実績を踏まえつつ、地域の中長期的な人口動態や介護ニーズ見込み等を適切に捉え、第10期計画における施設サービス、居住系サービス、地域密着型サービスをバランスよく組み合わせて、介護サービス提供体制を計画的に確保していく必要がある。その際、必要に応じて近隣の市町村のサービス需要を踏まえ都道府県とも連携して広域的な整備を進めることが重要である。

また、医療・介護双方のニーズを有する高齢者のサービス需要や在宅医療の整備状況を踏まえ、医療・介護の連携を強化し、医療及び介護の効率的かつ効果的な提供を図ることも重要である。

（イ）在宅サービスの充実

居宅要介護者の在宅生活を支えるための定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護等の地域密着型について、引き続き、地域の実情に応じて、普及を検討し、整備に取り組むことが重要である。

令和８年３月　全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料（介護保険計画課）

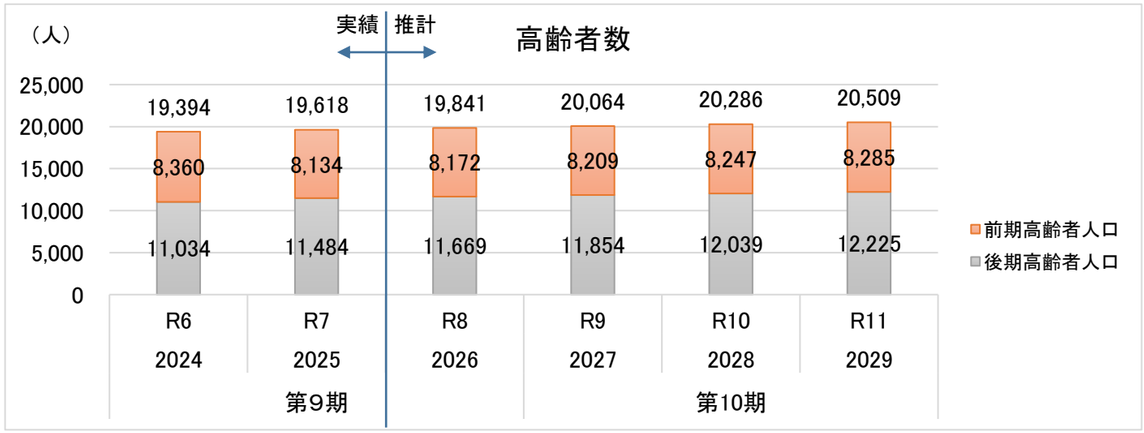
3　施設整備検討の考え方

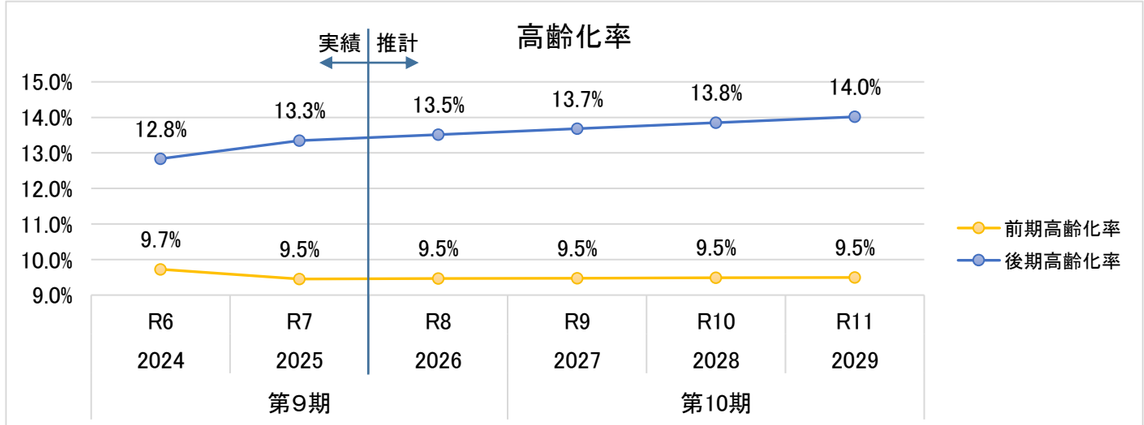
高齢者等が介護を受けながら地域に住み続けることができるよう、高齢者の多様なニーズに対応するため、国が定める「基本指針」との整合を図ります。

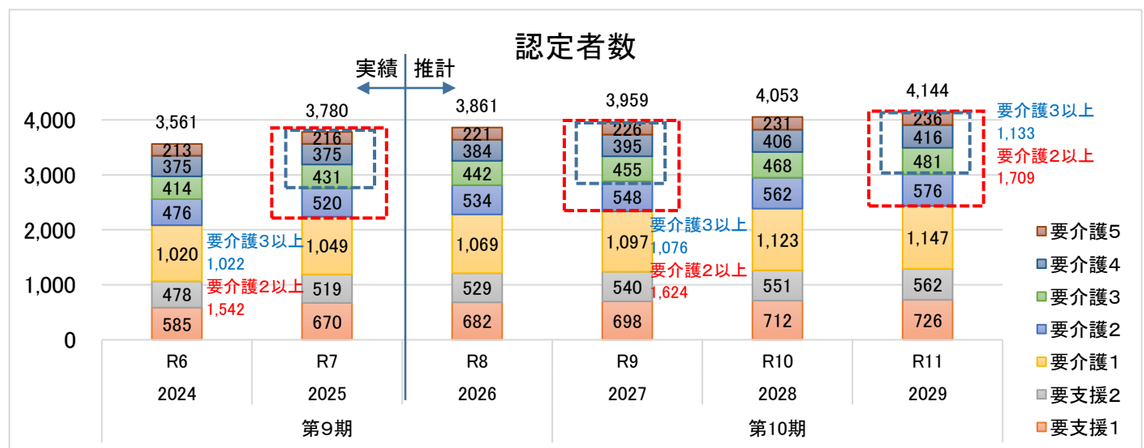
第10期介護保険事業計画では、在宅サービスの充実を前提としつつ、これまでの施設の整備状況や待機者数等の現状把握を行い、今後の高齢者数や認定者数の推計に基づき、施設・居住系サービスや居宅系地域密着型サービスの基盤整備について検討します。

4　本市の高齢者数および認定者数の実績と推計

●後期高齢者が前期高齢者を上回る（前期高齢化率は横ばい、後期高齢化率は増加）
●軽度者の増加が見込まれる



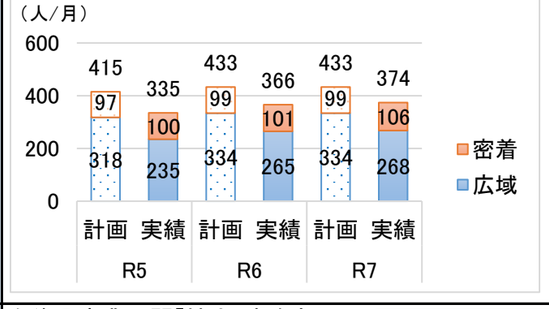
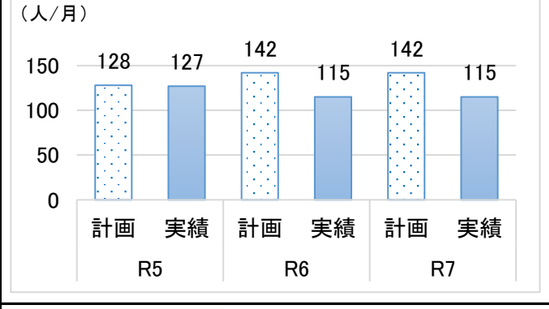
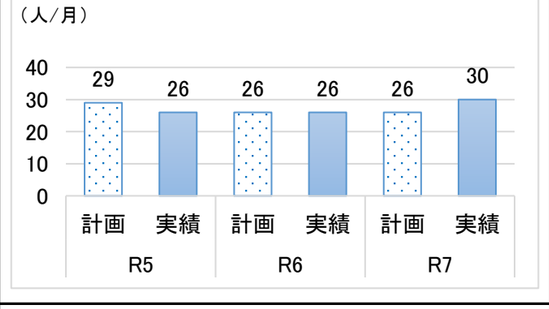
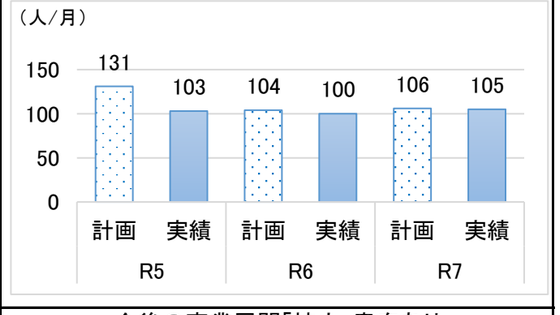




5 施設・居住系サービスの状況

広域：ゆいの里90人・しがそせい苑80人・ゆいの里別館40人・サクラベル守山80人
密着：カナリヤの家20人・カナリヤの家大門29人・ひいらぎ29人・南平の郷29人

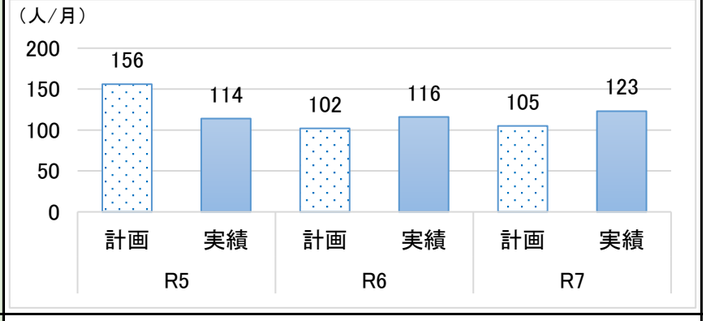
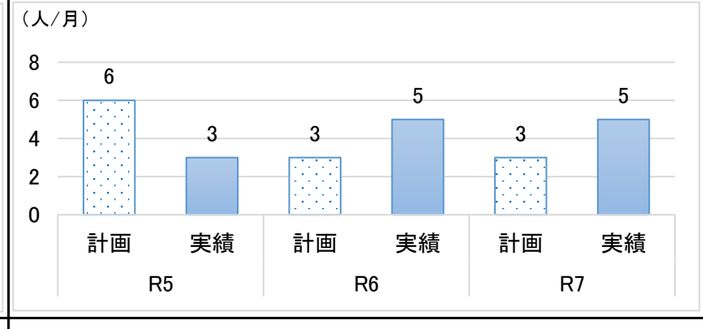
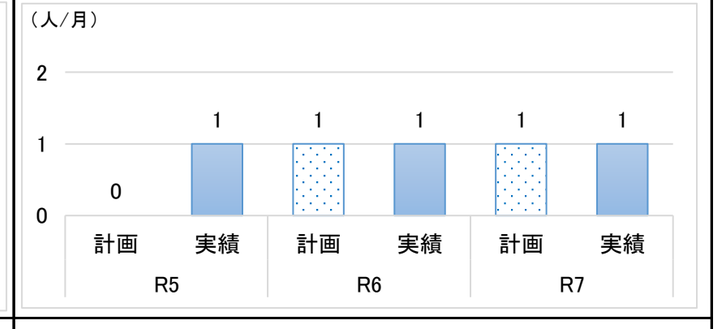
カナリヤGH18人・GHゆい18人・GHすいれん9人・GH花梨9人・GH下之郷18人・洛和GH守山大門18人・GH安寧18人

	①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	②介護老人保健施設（老健）	③特定施設入居者生活介護	④認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
施設概要	常に介護が必要で在宅介護が困難な人に、日常生活介護、機能訓練、健康管理、レクリエーション等を行う。	状態が安定している人が在宅復帰できるよう、リハビリテーションを中心としてケアを行う。	特定施設（※）に入居している要介護者を対象に、日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話を行う。 ※有料老人ホーム・経費老人ホーム（ケアハウス）・養護老人ホーム	認知症の人が共同生活する住宅で、入浴や食事などの日常生活上の支援や機能訓練などを行う。
対象者	要介護3～5（特例により要介護1・2）	要介護1～5	要介護1～5	要支援2／要介護1～5
施設数・定員	形態：広域／施設数：4施設／定員：290人 形態：密着（29人以下/施設）／施設数：4施設／定員：107人 合計：施設数：8施設／定員：397人	形態：広域／施設数：1施設／定員：100人 守山すみれ苑	形態：広域／施設数：1施設／定員：40人 ケアフル楠の葉	形態：密着（29人以下/施設）／施設数：7施設／定員：108人
入所・待機状況	● 入所状況 部屋：多床室／定員：90人／入所者数：88人／入所率：97.8% 部屋：個室／定員：307人／入所者数：304人／入所率：99.0% 合計：定員：397人／入所者数：392人／入所率：98.7% ※市入所状況調査（令和8年5月1日時点） ● 待機状況 部屋：多床室／R6：56人／R7：34人／R8：40人 部屋：個室／R6：36人／R7：28人／R8：77人 合計：R6：92人／R7：62人／R8：117人 ※R6～R7：県特別養護老人ホーム入所申込者等状況調査（4月1日時点） ※R8：市入所状況調査（5月1日時点） ※死亡者・重複・他施設入居者を除く	● 入所状況 部屋：多床室／定員：100人／入所者数：80人／入所率：80.0% ※市入所状況調査（令和8年5月1日時点） ● 待機状況 部屋：多床室／R6：0人／R7：0人／R8：10人 ※市入所状況調査 （R6～R7：6月1日時点　R8：5月1日時点） ※重複の可能性あり	● 入所状況 部屋：個室／定員：40人／入所者数：39人／入所率：97.5% ※市入所状況調査（令和8年5月1日時点） ● 待機状況 部屋：個室／R6：2人／R7：3人／R8：1人 ※市入所状況調査 （R6～R7：6月1日時点　R8：5月1日時点） ※重複の可能性あり	● 入所状況 部屋：ー／定員：108人／入所者数：89人／入所率：82.4% ※市入所状況調査（令和8年5月1日時点） ● 待機状況 部屋：ー／R5：56人／R8：53人 ※市入所状況調査 （R5：6月1日時点　R8：5月1日時点） ※死亡者・重複・他施設入居者を除く
入所・待機状況（待機理由）	希望している施設に空きが出ればすぐ入居したいが、満床となっているため：64人 将来を見越して入居申し込みをしているが、現在は在宅で対応しているため：28人 医療依存度が高く、入所（入居）が困難なため：9人 入院中のため：5人 その他：11人 計：117人	希望している施設に空きが出ればすぐ入居したいが、満床となっているため：5人 将来を見越して入居申し込みをしているが、現在は在宅で対応しているため：0人 医療依存度が高く、入所（入居）が困難なため：0人 入院中のため：5人 その他：0人 計：10人	希望している施設に空きが出ればすぐ入居したいが、満床となっているため：0人 将来を見越して入居申し込みをしているが、現在は在宅で対応しているため：1人 医療依存度が高く、入所（入居）が困難なため：0人 入院中のため：0人 その他：0人 計：1人	希望している施設に空きが出ればすぐ入居したいが、満床となっているため：40人 将来を見越して入居申し込みをしているが、現在は在宅で対応しているため：8人 医療依存度が高く、入所（入居）が困難なため：2人 入院中のため：1人 その他：2人 計：53人
利用者の状況				
サービス提供事業所アンケート調査結果	今後の事業展開「拡大」意向あり 0.0%（前回調査：0.0%）	第10期計画期間中に＋2床計画あり ー	ー	今後の事業展開「拡大」意向あり 4.2%（前回調査：0.0%）

6 居宅系サービス（地域密着型サービス）の状況

おうみの里ほたる29人・花梨29人・あいむ守山29人・あいむ勝部29人・らいふステーション憩い29人

ゆうらいふケアステーション

	①小規模多機能型居宅介護	②定期巡回・随時対応型訪問介護看護	③看護小規模多機能型居宅介護
施設概要	日帰りでの施設へのデイサービス、ショートステイ、訪問の3つのサービスを組み合わせたサービスを行う。	日中・夜間を通じて定期的な巡回や緊急時などの随時の訪問介護・看護サービスを行う。	日帰りでの施設へのデイサービス、ショートステイ、訪問の3つのサービスに、訪問看護の機能を加え、看護と介護の一体的サービスを行う。
対象者	要支援1・2／要介護1～5	要介護1～5	要介護1～5
施設数・定員	形態：密着（29人以下/施設）　施設数：5施設　定員：145人	形態：密着（29人以下/施設）　施設数：1施設　定員：ー	
登録・待機状況	● 登録状況 登録定員 145人　登録者数 120人　登録率 82.8% ※市入所状況調査（令和8年5月1日時点） ● 待機状況 R6 0人　R7 5人　R8 6人 ※市入所状況調査 （R6～R7：6月1日時点　R8：5月1日時点） ※重複の可能性あり 待機理由／人数： 希望している施設に空きが出ればすぐ入居したいが、満床となっているため 1人 将来を見越して入居申し込みをしているが、現在は在宅で対応しているため 1人 医療依存度が高く、入所（入居）が困難なため 0人 入院中のため 3人 その他 1人 計 6人		
利用者の状況			
サービス提供事業所アンケート調査結果	今後の事業展開「拡大」意向あり 2.8%（前回調査：0.0%）	今後の事業展開「拡大」意向あり 4.2%（前回調査：1.5%）	ー

小規模多機能型居宅介護から看護小規模多機能型居宅介護への転用（1法人）が検討されている

7　検証と方向性

(1) 施設整備を位置づけるにあたって留意すべき前提事項

第8期計画で位置づけた「認知症対応型共同生活介護」・「小規模多機能型居宅介護」
第9期計画で位置づけた「看護小規模多機能型居宅介護」

応募なし

理由
- ●建築資材および人件費の高騰（建設コスト高騰）などにより初期投資を回収できる見込みが立ちづらい
- ●運営資金調達が困難で新規事業への参入や事業拡大について慎重な判断がなされている

昨今の社会情勢は回復基調の見込みが立たず、施設を位置づけたとしても**整備に至らない可能性が高い**
➢施設の整備は介護保険料の算定に影響し、整備に至らなかった場合介護保険料が高く設定されてしまうリスク

施設整備の検討にあたっては**喫緊の課題が生じているもの**を優先

(2) 施設・居住系サービス

検証

第9期計画策定時の県の考え方をベースにした場合⇒35.8%
- ●1,709人（第10期計画最終年度の要介護2以上の見込み認定者）×35.8%＝612人
- ●第10期計画最終年度の施設・居住系サービスの整備見込み：647床（37.9%）
  ⇒目安以上の受け皿を確保できている

第10期の県の考え方は現時点で未公表

【参考】滋賀県第9期介護保険滋養支援計画策定にあたっての県の考え方（抜粋）
令和5年3月時点の実績で県平均34.3%であることを踏まえ、第9期計画の最終年度である令和8年度末における要介護2～5の認定者に占める介護保険施設および居住系サービス利用者の割合は35%以下を目安としつつ、地域の実情に合わせて35%に±αして設定する。

令和8年3月時点の実績で県平均35.8%（暫定）のため、この数値を基準として検討

方向性

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	・多床室希望の待機者が多いものの、待機者全体では横ばい傾向
②介護老人保健施設（老健）	・既存施設に空きがある状況 ・待機はほぼ発生していない
③特定施設入居者生活介護	・待機はほぼ発生していない
④認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	・待機者の総数は3年前から大きく変動していない

第10期計画では
整備を位置付けない
（ただし、既存施設の増床分は見込む）

(3) 居宅系サービス（地域密着型サービス）

検証

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、「自宅で介護サービスを受け、住み慣れたところで暮らしたい」との回答が57.4%（前回：60.6%）と、在宅でのサービス利用を望まれる人が多く、在宅介護のニーズは依然として高い

守山市在宅療養・看取りに関する意識調査において、「自宅での看取りには訪問看護や訪問介護の24時間対応が必要」との回答が43.6%（前回：41.6%）と、医療ニーズの高い要介護者への支援ができる看護小規模多機能型居宅介護のニーズは継続して高い

方向性

①小規模多機能型居宅介護	・登録率が80%台で施設には空きがある状況
②定期巡回・随時対応型訪問介護看護	・既存事業で充足している
③看護小規模多機能型居宅介護	・小規模多機能型居宅介護から看護小規模多機能型居宅介護への転用（1法人）が検討されている

第10期計画では
整備を位置付けない

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の待機等の状況

資料3－補足資料

単位：人

年度	圏域	形態	定員	入所者				市内待機者
				市内	市外	計	入所率	
R5	市内	多床室	100	84	16	100	100.0%	72
		個室	187	153	23	176	94.1%	24
		計	287	237	39	276	96.2%	96
	湖南圏域	多床室	362	22	333	355	98.1%	17
		個室	738	30	676	706	95.7%	8
		計	1,100	52	1,009	1,061	96.5%	25
	市内＋湖南圏域	多床室	462	106	349	455	98.5%	89
		個室	925	183	699	882	95.4%	32
		計	1,387	289	1,048	1,337	96.4%	121
R6	市内	多床室	90	70	19	89	98.9%	56
		個室	307	226	69	295	96.1%	36
		計	397	296	88	384	96.7%	92
	湖南圏域	多床室	362	22	329	351	97.0%	11
		個室	738	31	663	694	94.0%	9
		計	1,100	53	992	1,045	95.0%	20
	市内＋湖南圏域	多床室	452	92	348	440	97.3%	67
		個室	1,045	257	732	989	94.6%	45
		計	1,497	349	1,080	1,429	95.5%	112
R7	市内	多床室	90	71	18	89	98.9%	34
		個室	307	229	74	303	98.7%	28
		計	397	300	92	392	98.7%	62
	湖南圏域	多床室	362	27	324	351	97.0%	20
		個室	738	25	666	691	93.6%	9
		計	1,100	52	990	1,042	94.7%	29
	市内＋湖南圏域	多床室	452	98	342	440	97.3%	54
		個室	1,045	254	740	994	95.1%	37
		計	1,497	352	1,082	1,434	95.8%	91
R8	市内	多床室	90	69	19	88	97.8%	40
		個室	307	230	74	304	99.0%	77
		計	397	299	93	392	98.7%	117

※R5～R7：県特別養護老人ホーム入所申込者等状況調査（4月1日時点）

※R8：市入所状況調査（5月1日時点）

※死亡者・重複・他施設入居者を除く